

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第1項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 4	箇条 4 一般要求事項（JIS C 9335-1（以下、第 1 部）の規定による。） 機器は、通常使用時に起こりやすい不注意があっても、人体及び／又は周囲に危害をもたらさないように安全に機能する構造でなければならない。	
第二条 第2項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.103 22.104 22.105 22.106 22.107	第 1 部の第二条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.103 機器は、通常使用時に、300 °C を超える温度の部分に高温の油のこぼれ又は跳ね返りを十分に防止する構造でなければならない。 22.104 調理鍋を電気モータで傾斜させる場合には、そのための制御ボタン又はスイッチに圧力を加えているときに限り、このモータが機能することが可能でなければならない。 22.105 傾斜可能な調理鍋をもつ機器は、調理鍋を水平線から 12° を超えて傾斜させたとき、電熱素子を自動的に遮断する構造でなければならない。 22.106 丁番付きの蓋は、偶発的に落下しないように保護しなければならない。 22.107 可搬形機器は、小さな物体が侵入して充電部に接触するような底面の開口部があってはならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第 二 条 第 2 項 続き				22.108	22.108 傾斜可能な調理鍋の縁には、液体が均一に排出できる構造をもたなければならない。	
				22.111	22.111 過圧防止安全装置は、その作動によって人体の傷害又は周囲への損害の原因とならない位置に配置するか、又は人体の傷害又は周囲への損害の原因とならない構造でなければならない。	
				22.112	22.112 加圧機器の蓋又はカバーは、圧力がほぼ大気圧に下がるまで、開けることができてはならない。	
				22.114	22.114 機器の加圧部分は、定格圧力に耐えなければならない。	
				22.115	22.115 清掃目的で前後に移動させる固定形機器は、例えば、水、蒸気、ガス、等電位などの供給源に個々に可とうコード又はホースで接続しなければならず、かつ、これらの接続は、移動中に破損しない構造でなければならない。	
				箇条 24	箇条 24 部品	
				24.101	24.101 機器に取り付けるコネクタには、自動温度調節器を組み込んではならない。	
				箇条 25	箇条 25 電源接続及び外部可とうコード	
	25.3	25.3 固定形機器及びローラ若しくはキャスト又はこれらと類似の手段を備えていない 40 kg を超える質量を持つ機器は、機器を設置した後に、電源コードが接続できる構造				

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					でなければならない。	
第 三 条 第 1 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 20 20.101 箇条 22 22.101 22.104 22.109 22.113	第 1 部の第三条第 1 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 20 安定性及び機械的危険 20.101 運動エネルギーが 200 J を超える、混合、かくはんなどに用いる運動部分をもつ多目的調理鍋は、蓋又はガードを 50 mm を超えて開けたとき、運動部分を停止させるインタロックを備えなければならない。 箇条 22 構造 22.101 発熱体用保護装置及び不意な動作が危険なモータ保護装置は、三相の場合は全極を、単相の場合は少なくとも 1 極以上を遮断する、非自己復帰形のトリップフリーのものでなければならない。 22.104 傾斜可能な調理鍋をもつ機器は、いかなる位置においても、その位置からの偶発的な傾斜を防止する機構をもたなければならない。 22.109 大気圧を超える圧力（過圧）で運転する機器は、過大な圧力を防止する適切な過圧防止安全装置を備えていなければならない。 22.113 加圧機器は、真空運転を意図する機器を除き、部分的な真空状態を回避する真空逃し弁を備えなければなら	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					ない。	
第 三 条 第 2 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによつてはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7 7.10 7.12 7.12.1 7.12.4 7.101 7.102 7.103	第 1 部の第三条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 7 表示、及び取扱説明又は据付説明 7.10 傾斜可能な部分をもつ機器の傾斜操作を制御する装置は、その動作方向を明確に表示しなければならない。 7.12 IEC 60417 の記号 5021(等電位)を機器に表示する場合には、その意味を取扱説明書に説明しなければならない。 7.12.1 設置するときに特別な注意が必要な場合には、その詳細を記載した据付説明書を機器に添付しなければならない。 7.12.4 複数の機器用の独立した制御パネルをもつ埋込形機器の取扱説明書には、可能性がある危険を避けるために制御パネルには指定する機器だけを接続する旨を記載しなければならない。 7.101 等電位ボンディング端子には、IEC 60417 の記号 5021 を表示しなければならない。 7.102 清掃のために部分的に水に浸せきさせる機器又は着脱できる電気部分には、最大の浸せき深さを明瞭に示す線を表示しなければならない。 7.103 常圧多目的調理鍋以外の多目的調理鍋の取扱説明書	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項 続き				箇条 22 22.102 箇条 25 25.3	には、圧力がほぼ大気圧に下がるまでは、排水栓又は他の排出装置を開けてはならない旨の警告を記載しなければならない。 箇条 22 構造 22.102 危険、警告又は類似の状況を示すための、照明、スイッチ又は押しボタンの色は、赤でなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.3 取扱説明書及び据付説明書には、電源コードの詳細を記載しなければならない。	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 23 23.3	第1部の第四条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 23 内部配線 23.3 自動温度調節器のキャピラリチューブが、通常使用時に屈曲を受ける可能性がある場合には、屈曲試験に耐えなければならない。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 6 6.1 6.2	第1部の第五条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 6 分類 6.1 機器は、感電に対する保護に関し、クラス 0I 又はクラス I でなければならない。 6.2 卓上で用いる機器の水に対する保護等級は、IPX3 以上でなければならない。他の機器は、IPX4 以上でなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 25 25.7 箇条 29 29.2	第 1 部の第六条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.7 電源コードは、オーディナリークロロプレン又はその他の合成エラストマーシース付きコードと同等以上の特性をもつ耐油性の可とう被覆ケーブルでなければならない。 箇条 29 空間距離、沿面距離及び固体絶縁 29.2 汚染にさらされる可能性がある場合には、絶縁物の比較トラッキング指数 (CTI) は 250 以上でなければならない。	
第七 条 第 1 号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.107	第 1 部の第七 条第 1 号に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.107 可搬形機器は、小さな物体が侵入して充電部に接触するような底面の開口部があってはならない。	
第七 条 第 2 号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 27 27.2	第 1 部の第七 条第 2 号に該当する規定によるほか、次による。 箇条 27 接地接続の手段 27.2 据置形機器で、外部の等電位導体を接続するための端子を備えている場合には、その端子は、機器の全ての固定	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					した露出金属部分と、有効な電氣的接触をしていなければならない。	
第八条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 15 15.2 15.101 15.102	第 1 部の第八条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 15 耐湿性等 15.2 機器は、通常使用時にこぼれた液体によって電気絶縁に悪影響を及ぼさない構造でなければならない。 15.101 水の充填又は清掃のために水栓を備えている機器は、水栓からの水が充電部に接触しない構造でなければならない。機器は、試験にて水栓を全開した後、耐電圧試験に耐えなければならない。 15.102 清掃のために水に部分的又は完全に浸せきさせる機器又は着脱できる電気部分は、浸せきの悪影響がないように、十分に保護しなければならない。機器は、試験にて水中に完全に浸せきした後、耐電圧試験に耐えなければならない。	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 30 30.2.1 30.101	第 1 部の第九条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 30 耐熱性及び耐火性 30.2.1 非金属材料の部分は、650℃のグローワイヤ試験に耐えなければならない。 30.101 油脂吸収用の非金属製のフィルタは、難燃材料でなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.13 22.110	第 1 部の第十条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.13 蓋及びそのグリップは、蓋の開閉時に蒸気によるやけどを未然に防ぐ構造でなければならない。 22.110 蓋及びそのグリップは、蓋の開閉時に蒸気によるやけどを防止する構造でなければならない。	
第十一条第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 20 20.101 箇条 22 22.109 22.114	第 1 部の第十一条第 1 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 20 安定性及び機械的危険 20.101 運動エネルギーが 200 J を超える、混合、かくはんなどに用いる運動部分をもつ多目的調理鍋は、蓋又はガードを 50 mm を超えて開けたとき、運動部分を停止させるインタロックを備えなければならない。 箇条 22 構造 22.109 大気圧を超える圧力（過圧）で運転する機器は、過大な圧力を防止する適切な過圧防止安全装置を備えていなければならない 22.114 機器の加圧部分は、漏れの兆候、恒久的な変形又は破損がなく、規定の圧力に耐えなければならない。	
第十一条第 2 項	機械的危険源による危害の防止	2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によつ	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	20.2	20.2 保護外郭、ガードその他これに類するものは、十分な機械的強度をもっていなければならない。（第 1 部の規	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第2項 続き		て人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。		<p>箇条 21</p> <p>22.11</p> <p>23.3</p> <p>25.22</p>	<p>定による。)</p> <p>箇条 21 機械的強度 (第 1 部の規定による。)</p> <p>機器は、十分な機械的強度をもっており、通常使用時に予想される手荒な扱いに耐えるような構造でなければならない。</p> <p>22.11 充電部、湿気又は運動部への接触に対する保護のための着脱できない部分は、通常使用時に生じる機械的応力に耐えなければならない。(第 1 部の規定による。)</p> <p>23.3 通常使用時に外力が加わる電気接続部及び内部導体に過大な応力が加わってはならない。(第 1 部の規定による。)</p> <p>25.22 機器用インレットは、コネクタを挿入及び取外した場合には、端子のはんだ付け部に機械的応力が加わらない構造でなければならない。(第 1 部の規定による。)</p>	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	<p>箇条 19</p> <p>22.22</p> <p>22.23</p>	<p>箇条 19 異常運転 (第 1 部の規定による。)</p> <p>異常運転試験において、危険な量の有毒性のガスが機器から漏れてはならない。</p> <p>22.22 機器は、アスベストを含んではならない。(第 1 部の規定による。)</p> <p>22.23 機器には、PCB を含んだ油を用いてはならない。(第 1 部の規定による。)</p>	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十二条 続き				22.41 箇条 32	22.41 機器は、ランプを除き、水銀を含む部品を組み込んではならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。）	
第十三条	電気用品から発生される電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。）	
第十四条	使用方法を考慮した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	19.7 19.9 22.40 22.49	19.7 人がついていない状態で運転する機器は、拘束試験において、巻線の温度が表 8 に規定する値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 19.9 遠隔制御若しくは自動制御によって運転するモータをもつ機器、又は連続運転を行う可能性がある機器には、過負荷運転試験において、巻線の温度が規定の値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 22.40 遠隔操作の機器には、機器の動作を停止させるためのスイッチを取り付けなければならない。（第 1 部の規定による。） 22.49 遠隔操作の場合、運転継続時間を設定しない限り、機器が始動できないようにしなければならない。（第 1 部の規定による。）	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四条続き				22.50 22.51 30.2.3	22.50 機器内に組み込んだ制御装置がある場合、それが遠隔操作によって操作される制御装置よりも優先されなければならない。(第1部の規定による。) 22.51 機器上には、機器が遠隔操作作用に調節されていることを示す視覚的表示がなければならない。(第1部の規定による。) 30.2.3 遠隔操作の機器及び人の注意が行き届かない状態で動作する機器については、非金属材料に燃焼試験を行わなければならない。(第1部の規定による。)	
第十五条第1項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転 (第1部の規定による。) 異常運転試験において、機器は、危険な誤動作を起こしてはならない。	
第十五条第2項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 20 20.101 箇条 22 22.101	第1部の第十五条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 20 安定性及び機械的危険 20.101 このインタロックは、非自己復帰形とし、かつ、電源から全極を遮断するものでなければならない。 箇条 22 構造 22.101 発熱体の保護装置及び不意な動作が危険を引き起こすモータの保護装置は、非自己復帰形のトリップフリーのものでなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十五条第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 9 9.101	第 1 部の第十五条第 3 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 9 モータ駆動機器の始動 9.101 冷却ファンのモータは、使用時に発生する可能性がある全ての電圧状態の下で始動できなければならない。	
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10 箇条 19 25.8	箇条 10 入力及び電流（第 1 部の規定による。） 機器に定格入力（定格電流）が表示されている場合、通常動作温度における入力（電流）は、許容値を超える差があってはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 故障状態の下での機器の安全性をヒューズによって確保する場合は、適切なものを選ばなければならない。 25.8 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第一に適合したコード以外の電源コードの導体は、表 11 に規定する値以上の公称断面積をもつものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第十七条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 電子的スイッチを持つ機器には、イミュニティ試験を実施する。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	
第十九条	表示等（一般）	電気用品は、安全に必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7 7.15 7.101	第 1 部の第十九条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 7 表示、及び取扱説明又は据付説明 7.15 固定形機器の場合、機器を設置した後、表示が見えるように配置することが実際的でないときは、関連情報を取扱説明書に記載するか、又は機器の設置後に、機器の近傍に貼ることができる追加表示を提供しなければならない。 7.101 等電位ボンディング端子の表示は、着脱可能なねじ、座金、その他の部品の上に配置してはならない。	4
第二十条第1項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限り、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第1項 続き		(イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三 第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。） (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第2項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	二 電気冷蔵庫（産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第二十条第3項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-39-2016： 規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-39 部：業務用多目的調理なべの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第3項 続き	示)	<p>となっているものに限り、産業用のものを除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>				
第二十条第4項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示)	<p>四 テレビジョン受信機(ブラウン管のもの)に限り、産業用のものを除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上